

(報告) ユーザー理解活動の取組状況

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2021年3月2日

《目次》

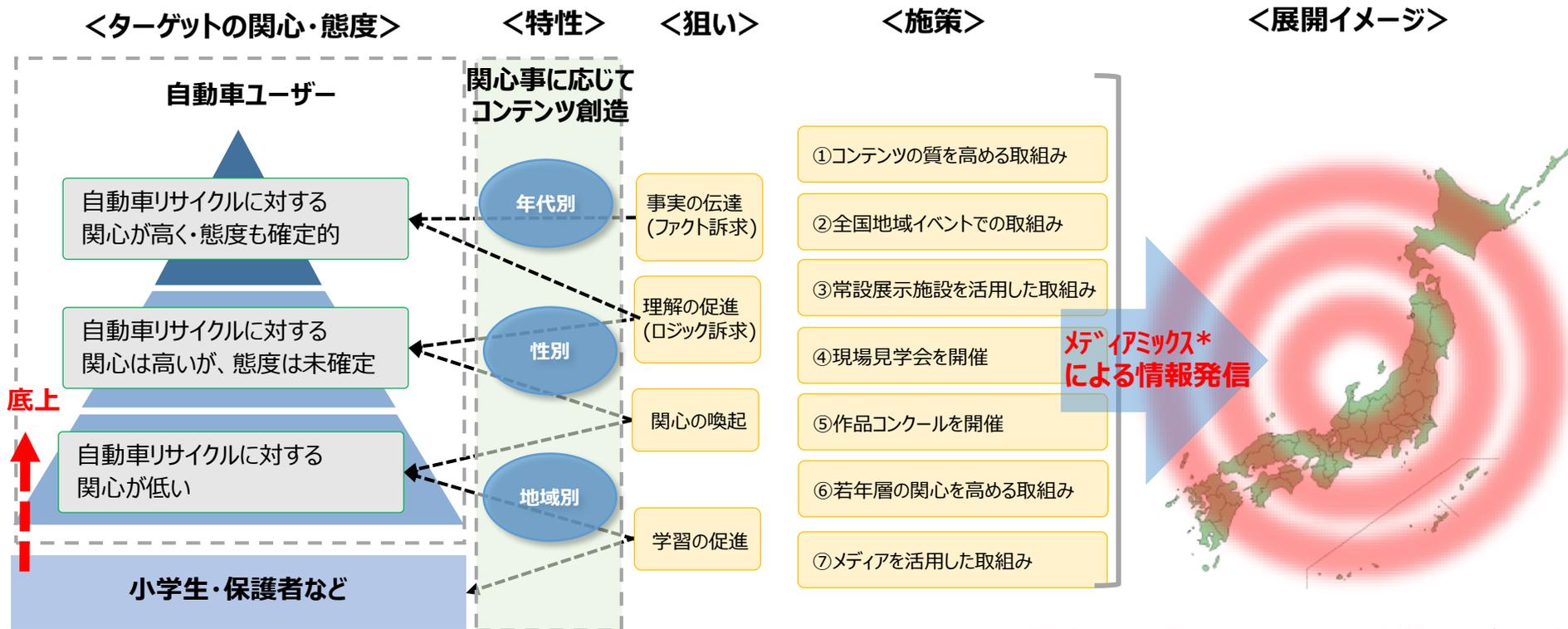
- | | | |
|-------------------------------|-------|----|
| 1. 2020年度ユーザー理解活動の計画 | | P2 |
| 2. 公式ウェブサイトを通じて、タイムリーに活動状況を発信 | | P3 |
| 3. ユーザーの関心事に応じたコンテンツ創り | | P4 |
| 4. 若者の関心を高める取組み | | P7 |
| 5. 動画コンテンツを使った関心を得る取組み | | P8 |
| 6. 活動費の執行状況(第3Q) | | P9 |

1. 2020年度ユーザー理解活動の計画

ユーザーにとって利便性が高く、コスト効率が良い手法を用いて、質の高い情報を提供していくことにより、ユーザーを含む国民一人ひとりの認知を広げ、そして関心を高める取組みを推進する。
 また、地方ユーザーを意識し、“点”での取組みを“面”へと活動の幅を広げ、自動車リサイクルに関する情報の露出を広げる取組みにより、ユーザーを含む国民一人ひとりの認知・関心を高める取組みを推進する。

(1) ユーザーの関心・態度に合わせた取組み

(2) 点の取組みから面の取組みに拡大



*個別施策の効果をより高めるために、新聞、テレビ、定期刊行物、SNSなどのメディアを組み合わせる行う広告活動。

2. 公式ウェブサイトを通じて、タイムリーに活動状況を発信 その1

JARCの公式ウェブページで発信する活動状況の情報の質を日々高め、これらをタイムリーに発信している。

公益財団法人
自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

自動車リサイクルの紹介 二輪車リサイクルの紹介 データ・会議資料 本財団について お問い合わせ

第4回 **クルマのリサイクル** 作品コンクール
標語・ポスター大募集!
2月28日 必着

お知らせ

2021.01.20 更新情報
自動車リサイクル法に基づく運用状況等の実績情報を更新 (12月更新)

2021.01.18 お知らせ
ESG投資に関する「発行体とのエンゲージメント」ページを更新

2021.01.13 更新情報
西宮清化福祉会等の運用状況を更新(2020年度第2Q)

2021.01.08 お知らせ
議員の20%出勤への移行のお知らせ (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策)

2021.01.04 ニュースリリース
進めよう、クルマのリサイクル！つくろうみんなで、循環型社会！PR動画を本日から全国公開

博士の日記

2020.11.22
11月22日、岐阜市で開催された第2回「岐阜市エコフェスタ」に出展しました。

2020.11.06
11月6日、漫画家の三谷幸広さん作の自動車リサイクルに関する漫画が小学生新聞に掲載されました。

2020.11.02
11月2日、自動車リサイクルの取組みをまとめた記事の総集編が小学生新聞に掲載されました。

動画で知る 自動車リサイクル
LET'S DANCE
広報ツール
自動車リサイクル データBook
「クルマのリサイクル」作品コンクール
ESG投資 エンゲージメント

11月22日、岐阜市で開催された第2回「岐阜市エコフェスタ」に出展しました。



岐阜市エコフェスタのテーマは「体験しよう！エコはじめ ～コロナ時代をともに生きる～」です。会場でエコを体験し、各家庭で環境活動をはじめめるための新たな「気づき」としてほしいとの願い、そして、経済活動や日常生活のあらゆる場面で新型コロナウイルスの感染防止を土台に置いた行動が求められる「コロナ時代」において、どのように環境問題・・・(略)

11月6日、漫画家の三谷幸広さん作の自動車リサイクルに関する漫画が小学生新聞に掲載されました。



漫画家の三谷幸広さん作の漫画「超人アース 環境破壊に怒る！」が小学生新聞に掲載されました。地球環境の大切さを伝えるために「超人アース」が子どもたちの前に現れました。超人アースは人間の作ったものを資源に戻し、環境破壊・・・(略)
自動車リサイクルに関する漫画は[こちら](#)

発行体とのエンゲージメント（東日本高速道路株式会社）を更新しました。



JARCは、リサイクル料金の運用において、東日本高速道路株式会社（以下、NEXCO東日本）が発行するソーシャルボンドに投資をしております。これまでの投資実績は合計7億円となっております。日本の交通インフラに携わる公益性が高い組織として、NEXCO東日本とエンゲージメントを実施しております。*三菱UFJモルガン・スタンレー証券 ESG/SDGsエンゲージメント企画（2021年1月15日）は[こちら](#)



1月4日、進めよう、クルマのリサイクル！つくろうみんなで、循環型社会！PR動画を本日から全国公開

2. 公式ウェブサイトを通じて、タイムリーに活動状況を発信 その2

2020年4月から12月末までにJARCウェブページへのアクセス数の累計は529千件(前年同期110.4%)であった。少しずつではあるが、ウェブページへのアクセス数は増えている。

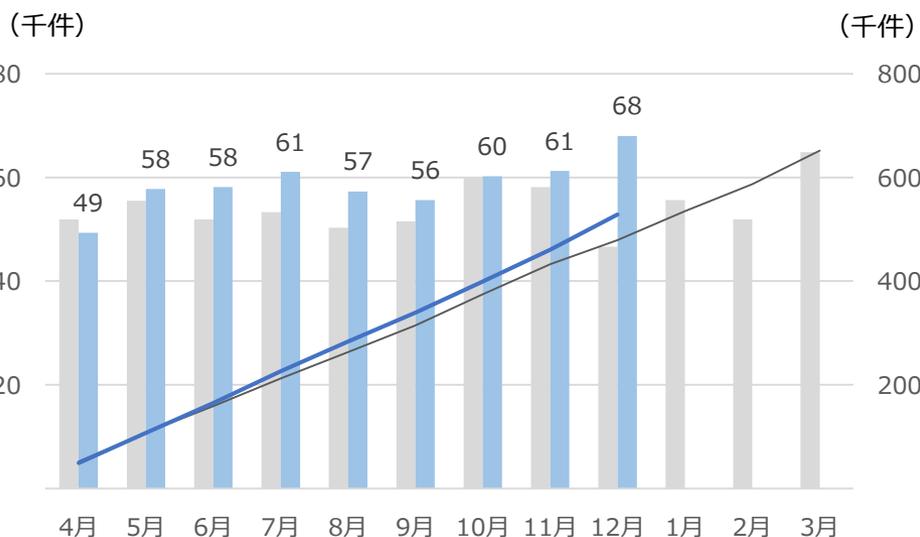
(1) 年間 JARCウェブページへのアクセス数

(単位：千件)

	年度		
	2018	2019	2020(~3Q)
アクセス数	651 (~3Q: 478)	652 (~3Q: 479)	529

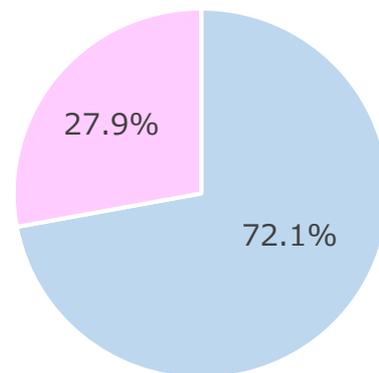
(2) 月間 JARCウェブページへのアクセス数

■ 2019年度 ■ 2020年度 — 2019年度 — 2020年度



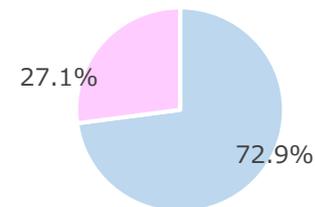
(3) 男女比

■ 男性 ■ 女性



(参考)

■ 男性 ■ 女性

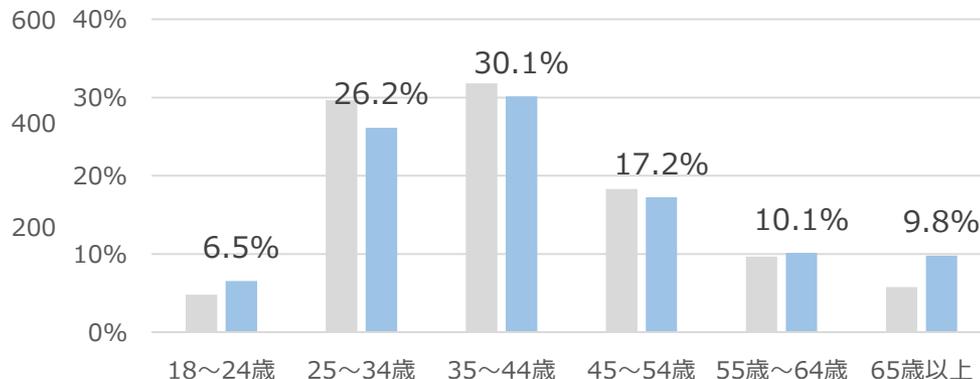


2020年度(~3Q)

2019年度(~3Q)

(4) 年齢比

■ 2019年度 ■ 2020年度



3. ユーザーの関心事に応じたコンテンツ作り その1

ユーザーの関心事に応じて制作した自動車リサイクルのコンテンツを発信することにより関心喚起に取り組んだ。

(1) 日経ESGの取材記事による情報発信

12/8、日経ESG（発行：日経BP社）への取材を通して、自動車リサイクルの情報を発信。（記事は、[こちら](#)）

未来戦略インタビュー



自動車リサイクル促進センター

自動車リサイクル促進センター



阿部 知和氏
自動車リサイクル促進センター
専務理事（COO）

阿部 知和（あべともかず）氏：1959年東京都生まれ。84年東北大学工学部卒業後、北沢製鋼入社。2000年ホンダエンジニアリング入社。専務研究開発部長、開発技術部長、本田技研工業環境リサイクル推進室長、資源循環推進部長を経て、19年7月から現職。

写真提供：村田 和哉

環境に配慮した車社会を支援

自動車の電動化によるリチウムイオン電池のリサイクルなど新しい課題にも対応する。災害対応のための情報提供や不法投棄を減らす活動などサービス提供にも力を入れる。

—自動車リサイクル促進センターの事業内容について教えてください。阿部 循環型社会の実現に向け、自動車リサイクルの様々な課題に対応するための自動車業界の横断的機関として2000年に設立されました。使用済み自動車の適正なリサイクルや資源の有効利用、環境保全に寄与する活動をしています。具体的にはユーザーからお預かりするリサイ

クル金の管理や選用のほか、リサイクル促進のための調査研究、啓発や情報提供もしています。—アニメーションを使った宣伝活動も話題になっています。阿部 「えんとつ町のプペル」の絵本をベースとして、「ゴミ人間プペルとクルマくん」というオリジナルの動画を作りました。若者に自動車リサイクルに対する理解を深めても

らうため、自動車教習所のテレビで放映しています。子どもたちも興味を持つ内容なので、イベントや学校などでも展開します。—サービスを拡充していますが、どのような内容ですか。阿部 激甚化する自然災害に備え、かけ崩れて車分埋まったり、洪水で車が水没したりする被害を想定し、行政側には被災した車の処理の方法や

自動車リサイクル促進センターの主な活動

大規模災害への備え
大規模な災害が発生した時でも、自動車リサイクル法に基づく対応が適切に行われるよう、自治体への支援を行っている。写真は、東日本大震災で被災した自動車を集めた自治体の廃棄場（2011年11月）



保管場所について情報を提供しています。また廃島の不法投棄車をなくすための活動もしています。使用済み自動車の処理は本土に船で運ばなければいけないのですが、運搬費用がかかります。費用の80%を支援し、周知活動も続けています。

—国際協力機構や自治体などが発行するESG債に投資をしています。狙いは何ですか。

阿部 グリーンボンド等のESG債投資は18年に開始し、取得実績は20年9月時点で累計で44億円となりました。ユーザーからお預かりした資金を有効に運用するため、循環型社会に寄与する内容の投資を重視しています。9400億円の運用資金の一部ではありますが、今後も内容がよければ増やしていきたいと考えています。

電池のリサイクルが課題

—中国の廃棄物輸入規制の影響で、自動車リサイクルも影響を受けています。この問題はどう対応しますか。

阿部 中国や東南アジア諸国で廃棄

ESG債への投資
2018年度から開始した投資は、年々その額を増やしている



写真：資料提供：自動車リサイクル促進センター

物輸入規制が開始されてから、廃プラスチックの処理を日本国内のリサイクル事業者が担うことになりました。その結果、廃棄物処理全体が滞り、自動車リサイクルも影響を受けました。

自動車のシュレッダグダスト（金属類などを回収した後に残るゴムやプラスチックなど）を処理するためには遠隔地の再資源化施設に運搬する必要があります。環境への負荷をかけてしまいます。

この問題に対応するため、シュレッダグダストの発生量を軽減する施策の検討など、関係者との連携に努めています。

—ハイブリッド車、電気自動車が増えています。電動化が進む自動車のリサイクルはどうなりますか。

阿部 ハイブリッド車や電気自動車は30年ぐらいまでに50～70%を占めると「未来投資戦略2017」として国が予測を立てており、リチウムイオン電池をどう処理するかが課題と

なります。再利用のための回収スキームや、原料を回収するためのリサイクル技術など、リサイクルが進むように関係者間の情報共有や連携を広げていきます。

—自動車リサイクルにおける現状の課題と今後の展開について教えてください。

阿部 国内車の販売台数は今後、減少していくとみられています。一方で、循環型社会がキーワードになっているため、廃棄物の焼却処理で発生する熱エネルギーを回収する「サーマルリサイクル」は難しくなっていくでしょう。今後、どのようにして再資源化を図っていくかが課題になってきます。

自動車リサイクルの制度の中でいかにして使用済み自動車などの追跡可能性（トレーサビリティ）を管理していくか、検討してほしいという声も出ています。リサイクル現場の変化にどう対応していくかが課題となります。

聞き手：斎藤 正一（日経ESG経営フォーラム事務局員）

日経ESG 2021.1

日経ESG 2021.1

3. ユーザーの関心事に応じたコンテンツ創り その2

(2) 日経WOMANの企画記事による情報発信

12/7、日経WOMAN（発行：株式会社日経BP）の読者である女性に向けて、自動車リサイクルの仕組みやリサイクル料金の使途をテーマとした情報を発信。（記事は、[こちら](#)）

使用済自動車のほとんどがリサイクルされています

いつかは使わなくなってしまうクルマ、使い終わったクルマは、適正に処理されて、ほとんどがリサイクルされています。

ユーザーはクルマを買ったときにリサイクル料金を支払う

長く大切に買った愛車もいつかは使わなくなる

ユーザーが使わなくなったクルマを引取業者に引き渡す

クルマのほとんどがリサイクル!

フロントを抜き取って乗用化、エアバッグを安全に回収する

使えぬ部品を解体して、中古部品として使用する

残った車体などはシュレッダー一環で破砕する

金属を原料に戻してボディパネル、残ったシュレッダーダスト（プラスチックやゴムなども原料に戻したり、熱源として再利用する）



自動車はほとんどがリサイクルできると知り、驚きました

記事 使い終わった自動車は、まず引取業者引き渡されます。その後、解体業者が、壊れた部品を取り出し、適正に回収処理されて、使えぬ部品はリサイクル商品、再生資源に回ります。最後に残ったシュレッダーダストも分別・回収し、原料に戻したり、燃料として再利用したりするんです。

紅 細かく分別がされているんですね。自動車ユーザーが購入の際に支払いリサイクル料金は、何に使われているのでしょうか？

記事 フロン類、エアバッグ類、シュレッダーダストという3つの

リサイクル料金で処理するのはこの3つ

フロン類

カーエアコンに使用されるフロン類は、オゾン層破壊や地球温暖化など環境に良くない影響があるため、大気放出を防ぐ必要がある。フロン類を回収した後、蒸留で破壊処理し无害化する。

エアバッグ類

エアバッグ類には爆発性のあるガス発生剤が使用されているので、クルマのリサイクルでは安全を確保する必要があります。エアバッグを解体し外した後、金属部分を原料に戻してリサイクルしている。

シュレッダーダスト

クルマから有用な部品や金属資源などを回収した後のクズ（プラスチックやゴムなどをシュレッダーダスト）は、原料に戻したり、熱源として再利用している。



自動車ユーザーもこの制度の重要な役割を担っているんです

詳しくは、自動車リサイクル促進センターのWebサイトへ。



協力 / 公益財団法人自動車リサイクル促進センター <https://www.jarc.or.jp>



の処理は廃棄物として使われません。自動車ユーザーは、リサイクル料金を支払ったり、使い終わった自動車も引取業者を通じて適切な役割を担っているんです。

環境型社会を目指し

進化する自動車リサイクル

記事 よく知られているように、日本では80〜90年代、使用済自動車の不法投棄などが社会問題になりました。そこで、環境型社会に向けての取り組みが始まり、2005年1月に自動車リサイクル法がスタートしました。

紅 日本のユニークな自動車リサイクル制度が、ジャパンモデルと呼ばれているのを知りました。海外にもっと広がってほしいですか？

記事 例えば日本では、自動車ユーザーが使用済自動車全体を引き取ってリサイクルし、リサイクル料金を自動車の本体価格に含まれています。一方、日本の仕組みは、自動車ユーザー、自動車メーカー、リサイクル事業者に関わる事業者の役割を明確にしているのが特徴です。それ

れが環境型社会の一員という意識が持っているんです。役割が分けられていることにより、私たちがユーザーも身近に感じますし、事業をそれぞれの意識を高めようという、今後の「自動車リサイクル」電気自動車などの技術が本格化し、新たな素材や部品の持続も求められます。自動車メーカーリサイクル設計を推進する、そして、それが努力や工夫をし、さらに進歩することが重要だと思っています。

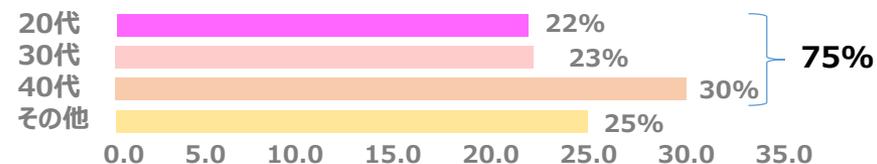
3. ユーザーの関心事に応じたコンテンツ創り その3

今年度は2回（9月号・1月号）に亘り、日経WOMANの読者に向けて情報発信を行い、次のとおり反響を確認した。

(1) 企画概要

【狙い】世間を与える影響力が大きく、根強い女性ファンがいる女性アーティストを起用することにより、熱烈的な女性ファンの団結力による話題の拡散を期待

【対象】発行部数約9.2万部、自分らしく幸せに働きたいと考える20代から40代のワーキングウーマン（全体の75%）

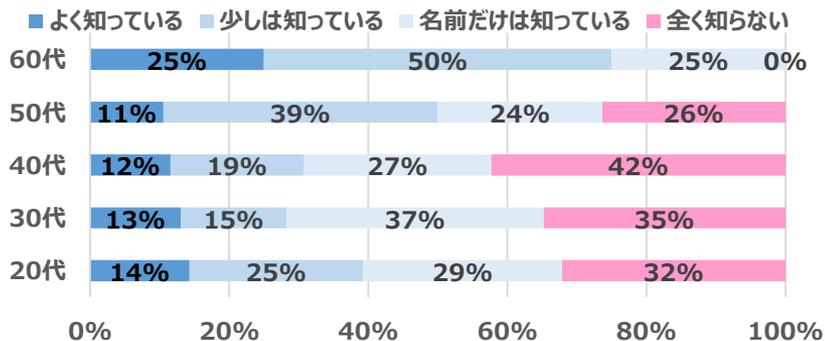


(2) 反響の調査結果

【対象】日経WOMAN9月号・1月号を読んだ女性20~69歳/全国
 【アンケート回収数】各150s
 【調査会社】楽天インサイト

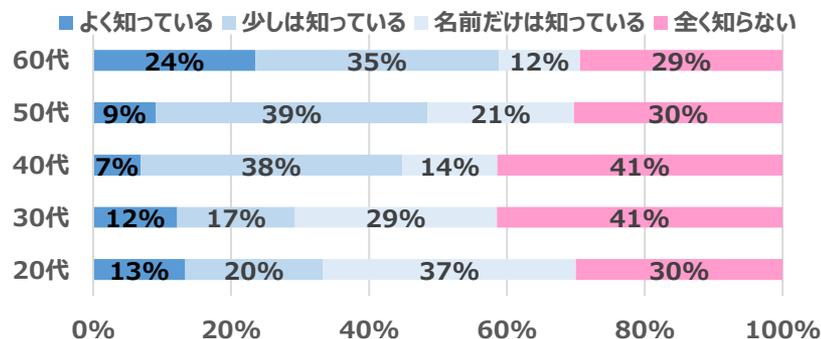
【9月号】認知度69%（「全く知らない」を除いた回答の割合）

- 1) 接触数：読者の約8割（約7.4万部相当の読者）
- 2) 傾向：20代の認知が高く、40代の認知が低い



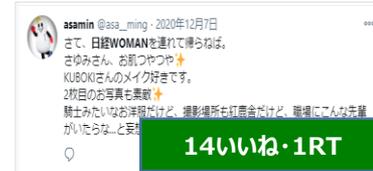
【1月号】認知度65%（「全く知らない」を除いた回答の割合）

- 1) 接触数：読者の約8割（約7.4万部相当の読者）
- 2) 傾向：20代の認知が高く、30代・40代の認知が低い



【対象】Twitterで記事関連のツイート数/全国
 ※リツイート数は含まず
 【調査会社】ブームリサーチ

【9月号】27件（純粋に記事に関連するツイート）
 【1月号】17件（純粋に記事に関連するツイート）



4. 若者の関心を高める取組み

若年層の自動車リサイクルに関する認知が他年代と比べて低い傾向にあることから、自動車教習生をターゲットとした情報提供を行っている。具体的には、4月から12月までの9か月間、**約59万部**の運転免許学科教本に情報を掲載、そして全国250か所の教習所にて動画コンテンツを**延68万回**配信した。

(1) 学科教本掲載情報の改訂

クルマは資源のかたまりです
循環型社会の実現に向けたクルマのリサイクルの取組をもっと知ってみませんか。

クルマのリサイクルの大切さを伝える絵本動画
「ゴミ人間プペルとクルマくん」公開中!!

美しい映像とハーブの調へにのせて届けられるショートストーリーを通じて、クルマのリサイクルの大切さを伝えています。大切な家族や身近な方と一緒に視聴していただき、もっとクルマのリサイクルの取組に関心をもちたい方にもぜひ見せたい。

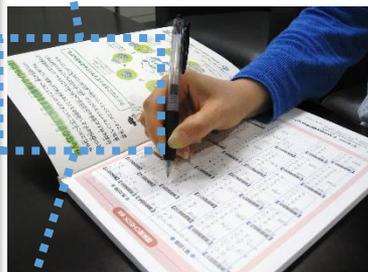
2005にスタートしたクルマのリサイクル制度は、廃棄物の削減と資源の有効利用を目指した仕組みです。ユーザーを始めとしたクルマに関わる全ての方が役割を果たすことで、今では使用済みとなったクルマのほとんどがリサイクルされ、地球環境に良くない影響を与えている様々な問題に対応しています。クルマの購入時にリサイクル料金を支払い、使用を終えた時には販売店や整備店に引き渡すことが、クルマを持つあなたの大切な役割です。

こうやってリサイクルされるんです

ユーザーはクルマを譲るときリサイクル料金を支払います。
ユーザーは使わなくなったクルマを引取業者に引き渡します。
フロントガラスを砕いて破砕します。エアバッグ類を安全に取り除きます。
クルマのボディをシュレッダーで破砕します。金属類は鉄、アルミなどに分別します。
廃棄物を焼却してリサイクルします。残ったシュレッダーダストや砕かれるガラスも、原料に戻して再利用します。
クルマの部品を再利用してリサイクルします。使える部品を取り分けてリサイクル部品として使います。

クルマのほとんどがリサイクル!

JARC 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター <https://www.jarc.or.jp/>



<参考画像>

<新 掲載例>

(2) 配信中の動画「ゴミ人間プペルとクルマくん」

- 公開日：2020年10月1日
- 公開場所：全国自動車教習所、JARCウェブサイト 等
- コンセプト：主人公プペルとルビッチが、捨てられて泣いていたクルマ君に出会います。美しい映像とハーブの優しい調べにのせて繰り広げられるショートストーリーを通じて、クルマのリサイクルの大切さを伝えていきます。大切な家族や身近な方と一緒に視聴していただき、もっとクルマのリサイクルの取組に関心を持ってもらえるようにと願いを込めました。



<動画のURL>

<https://www.jarc.or.jp/book-video/>

5. 動画コンテンツを使った関心を得る取組み

“映像”と“音”によるわかり易いメッセージの配信を通じて、ユーザーを含む国民一人ひとりの関心を得る取組みを行うこととしており、新たに制作した動画コンテンツを1月4日から全国公開した。

また、20年度ではBSデジタル放送と地上デジタル放送にて動画コンテンツを配信し、**延べ11億7千万世帯（見込み）**の視聴者に情報を届ける取組みを行っている。

（1）新たな動画コンテンツの制作

1）課題

- クルマのリサイクルをもっと知ってほしい
- 「自分ごと」として循環型社会への参加意識を高揚したい

2）コンセプト

リサイクル、それは地球と未来への愛

※キーワード：地球もクルマも回っている
進めよう、クルマのリサイクル！
つくろうみんなで、循環型社会！

3）制作した動画コンテンツ



動画は次のURLで視聴できます。

<https://www.jarc.or.jp/paper-craft/>

（2）動画コンテンツを届ける取組み

	期間	番組名 (チャンネル、番組時間)	延べ視聴世帯数見込み
全国	4～9月	報道1930 (BS-TBS、平日19時30分から)	8億3千500万世帯
	1～3月	プライムニュース (BSフジ、平日20時から)	

	期間	配信時間帯	延べ視聴世帯数見込み
全国 * 関東除く	1～3月	平日 7時から9時 12時から14時 18時から24時	3億3千900万世帯
		休日 7～24時	



上期配信動画



1～3月配信動画

6. 活動費の執行状況（～3Q）

2020年4月から12月末までにユーザー理解活動に要した費用は、11,398万円（執行率：56.0%）であった。主として新型コロナウイルス感染症の影響で活動の遅延・中止により執行率が低くなった。

＜ユーザー理解活動に要した費用の内訳＞

（単位：万円）

#	取組の方向性	施策例	年度 計画額	年度 実績 見込額	1Q・2Q・3Q		
					計画額 ①	決算額 ②	執行率 ②/①
1	全国万遍なく、環境関連イベントに出展し、自動車リサイクルの取組・成果の認知向上の機会を創出する	<ul style="list-style-type: none"> ●自治体と共に取り組む地域イベントへの出展 ●常設展示施設での情報提供 他 	5,600	1,000	5,473	217	4.0%
2	若年層に向けた情報発信を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ●関係者と共に取り組む現場見学会 ●クルマのリサイクル作品コンクール ●自動車教習所での情報提供 	8,200	10,171	6,115	6,222	101.7%
3	各種メディアを活用して露出を高める	<ul style="list-style-type: none"> ●ユーザーの関心事に応じた情報提供 ●PR映像による関心喚起に向けた情報提供 	9,000	12,236	6,700	4,429	66.1%
		<ul style="list-style-type: none"> ●ニュースリリースの積極的配信 ●その他のパブリシティ活動 	0	0	0	0	-
4	身近なところから、ユーザー視点で分かりやすい情報へと改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> ●公式ウェブサイト等での情報提供 ●チラシ・ポスター等の広報ツールの制作 ●自動車リサイクル実績冊子の制作【新規】 	1,800	1,062	1,455	449	30.9%
5	自動車リサイクルの現状や実態の変化等を把握する	<ul style="list-style-type: none"> ●ユーザーの認知状況の把握 ●各種ユーザーニーズの把握 	100	81	100	81	81.3%
6	広報・PRの専門家を助言や支援を受けながら、質の高い情報を、効果的に発信する	<ul style="list-style-type: none"> ●新規取組の実務支援 ●リスク低減の観点での支援 ●情報発信の効果検証 他 	1,500	1,650	500	0	-
合計			26,200	26,200	20,343	11,398	56.0%

*合計額には、人件費・管理費等を含まない。ユーザー理解活動に要した費用は特預金と繰越金から負担される。

<https://www.jarc.or.jp/>